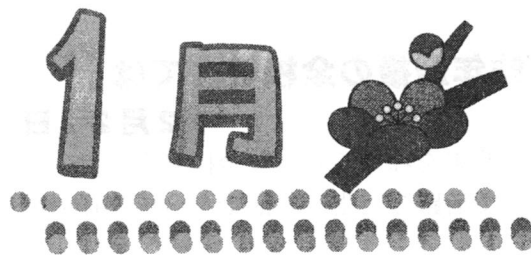


茅ヶ崎市立鶴が台中学校

鶴が

若き心
集まるところ



平成30年1月 校長 伊藤 盛人

謹賀新年



新年あけましておめでとうございます。

暮れから正月まで見事な晴天に恵まれ、穏やかで静かな新年を迎えることができ、大変うれしく思います。本年も昨年同様、よろしくお願いします。

冬季教育相談期間が始まります。

1月29日(月)～2月27日(火)

本校では、上記の期間に第3回目の教育相談を実施します。本年度、最後の教育相談期間です。一年間をしっかりと振り返って来年度に向けてスタートが切られるように先生方としっかりお話できるようにしましょう。

新入生保護者説明会 中学校説明会

1月12日(金)

1月24日(水)

上記の2回に分けて、新1年生のみなさんのために少しでも中学校生活が期待に満ちたものになるように説明会の準備を進めています。

3年生がいよいよ進路に向けて スタートします

学校がスタートしてすぐに3年生は後期期末試験一週間前になります。次の週には私立高校の推薦出願、入試となります。さらに一般私立出願と続き、今月末1月30日には、公立高校共通選抜の出願が行われます。必要な書類が決められた期限に提出できるようにご家庭と学校でしっかり情報のやり取りをお願いします。

インクルーシブ講演会開催

12月1日(金)

神奈川県教育委員会インクルーシブ課の小泉姿子さまをお招きし、「インクルーシブ教育」についての講演をしていただきました。インクルーシブとは障がいを持つ方もそうでない方もみんなが共に学べる、優しい学校づくりを目指すもので、神奈川県が全国に先駆けて取り組んでいる新しい教育です。講演はとてもわかりやすい内容で、本校生徒によく伝わるものでした。湘南地区では地元茅ヶ崎高校がパイロット校として昨年より取り組んでいることも紹介されていました。

2年生職場体験学習から

着々と準備が進めてきた職場体験学習を12月6日(水)に無事終えることができました。

香川小学校の大八木校長先生から、「2年生の働きぶりがとても立派でした」とお褒めの言葉をいただきました。わずか1日の体験でしたが、校内では体験できない大きな学びを味わえたようです。これからの学校生活に生かして欲しいものです。

昨年最後の全校集会では

12月22日(金)

昨年を締めくくった全校集会では、次のように校外で活躍した生徒の活動を全校生徒の前で披露しました。

- 1 地区国語弁論大会
- 2 全国中学校放送コンテスト
- 3 地区英語弁論大会
- 4 地区創作ダンス発表会

いずれも本校を代表する生徒の立派なパフォーマンスの発表で会場は大きく盛り上がりました。

その後、私、学校長から2月平昌オリンピックでもっとも期待されるスピードスケート1000m世界記録保持者の小平奈緒さんの言葉、

「用意された環境は好きではない。自分自身で選び、失敗も成功も受け入れる」と、

「明日、死ぬかのように生きよ。そして永遠に生きるかのように学べ!」の二つを紹介しました。

生徒一人ひとりが小平さんのように一日一日を悔いなく過ごし、自分の進路を選びぬいてほしいと思いました。



フレイフレー台中

12月集会で次の表彰がありました

神奈川県剣道個人選抜強化指定選手

眞木 優斗

中学生人権作文コンテスト 銀賞

大村 美怜

大塚 健介

明るい選挙啓発標語コンクール優秀賞

大塚 涼美

佳作

山本 遥夏

高橋 彩花

伏見 泰雅

山口 諒馬

読書週間第56回茅ヶ崎児童・生徒ポスター展

佳作 沼田 威

亀井 涼風

村上 大和

地区中学校美術作品展

第41回全国学生書写書道展

優秀特選 田口 菜奈

特選 木本 那月

中山愛央衣

第67回社会を明るくする運動 感謝状

前生徒会長 梅澤 彩奈

校長室からのお知らせ

本日、全校生徒集会で今年最初の感動ということとでこんな話をさせていただきました。

「才能とは自分の中にあるのではなく、他人や社会の中にあるものである」

ここ最近、卒業していく生徒のアルバムにこの言葉を添えています。もちろん、才能とは個人のもですが、それは他人や社会の援助があって初めて引き出されるものであると。すなわち、積極的に他人や社会にかかわることが大切であるということです。

正月恒例の「箱根駅伝」を直接、茅ヶ崎海岸まで出向き、応援しました。私の長男が通う大学は駅伝の強豪校ですが、最近、どうしたことか全くふるいません。今年も目の前をシード権がとれるか、どうかのギリギリの順位で通過しました。その瞬間、長男の入学とともに買った応援マフラーを差し出して選手に「がんばれ!」と声をかけたところ、選手がこちらをチラッと見て小さくうなづいてくれました。応援は毎年しているのですが、声援に応えてくれたのは、初めてでした。選手は幾分ギアをあげ、加速したように思います。私も思わずうれしくなりました。ほんの小さなコミュニケーションでしたが、選手の方(才能)を感じた瞬間でした。